

東海経済レポート

（2021年1月）

～東海経済は昨年末まで持ち直し続くも、緊急事態宣言で先行き不透明感強まる～

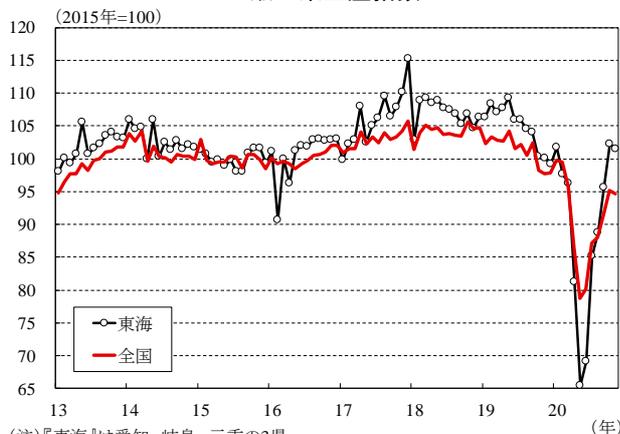
【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は、昨年 11～12 月までの経済指標を見る限り、新型コロナウイルス感染症の影響で依然厳しさは残るものの、着実な持ち直しを続けていたとみられる。生産はコロナ禍前水準に戻した後も底堅いほか輸出も増加、個人消費や雇用も緩やかに持ち直しつつあった。但し、1 月に入り緊急事態宣言が再度発出され、先行き不透明感は強まっている。移動制限や自粛の動きを受け、景気が一時的に下振れする可能性があり、コロナ禍前の経済活動水準への回復には相当な時間を要する見通しである。
- 生産は、昨年 11 月の鉱工業生産指数が前月比▲0.8%と 6 ヶ月ぶりに低下したものの、水準は 101.5 とコロナ禍前の昨年 1 月（101.7）並みの高さを維持した。品目別では、当地域主力の輸送機械が同▲1.4%、電子部品・デバイスが同▲2.8%とそれぞれ低下したものの、電気機械が同+3.4%（5 ヶ月連続で上昇）、生産用機械は同+11.3%（3 ヶ月連続で上昇）となった。
- 設備投資は、昨年 7-9 月期の大企業の投資額が、非製造業の牽引で前年比+6.3%と 2 四半期連続で増加した。金属工作機械の昨年 11 月の国内受注額（当地区主要 8 社は、自動車工業からの受注が減少し前年比▲25.5%と改善が足踏みしている。
- 昨年 12 月の輸出額(円ベース)は、前年比+5.7%と 4 ヶ月連続で増加した。米国向けが同+12.3%、中国向けが同+12.8%と堅調に推移し、EU 向けも同+2.0%と 3 ヶ月ぶりに増加に転じた。品目別では、当地域主力の自動車同+5.2%、自動車部品も同+7.3%と増加し、一般機械も同+5.2%（20 ヶ月ぶりの増加）となった。
- 昨年 11 月の有効求人倍率は、愛知県は前月と同水準の 1.02 倍であったが、その他 3 県は上昇を続けている。
- 個人消費関連では、昨年 11 月の小売主要 3 業態の販売額は、スーパーが前年比+3.5%と増加した一方、百貨店は同▲12.8%、コンビニは同▲2.2%と減少した。
- 昨年 11 月の住宅着工戸数は年率換算 7.8 万戸、前年比▲20.2%と 7 ヶ月連続で前年割れとなった。持家は同▲3.3%とマイナス幅が縮小したものの、貸家（同▲10.5%）、分譲戸建て（同▲32.6%）ではマイナス幅が拡大、分譲マンション（同▲59.9%）もマイナス転化した。
- 昨年 12 月の景気ウォッチャー調査の現状判断 DI は、38.5（前月比▲7.6 ポイント）と、2 ヶ月連続で悪化した。11 月下旬からの感染者数の増加に伴う外出自粛や、GoTo キャンペーン停止等の影響によるものと考えられる。

【生産①】

11月の鉱工業生産指数は前月比▲0.8%と6ヵ月ぶりに低下。水準は101.5と2020年1月(101.7)並み。

鉱工業生産指数

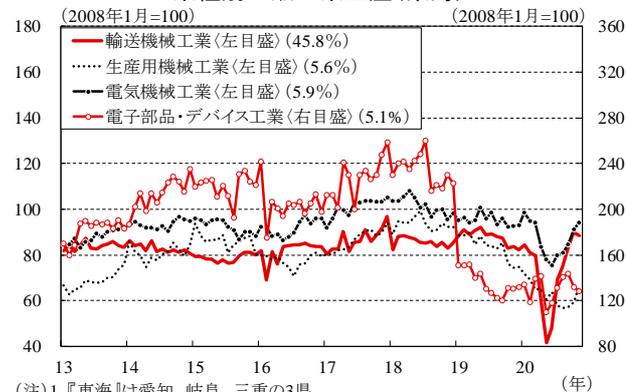


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②主要品目別】

輸送機械、電子部品・デバイスは前月比減少も、生産用機械は同+11.3%と底離れへ。

業種別の鉱工業生産(東海)



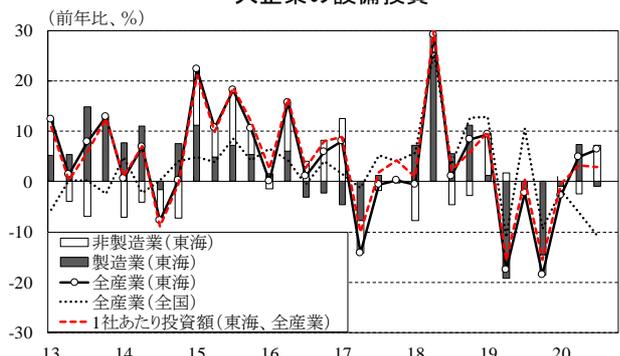
(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

7-9月期の大企業の設備投資は、非製造業で増加し、前年比+6.3%と2四半期連続でプラス。

大企業の設備投資

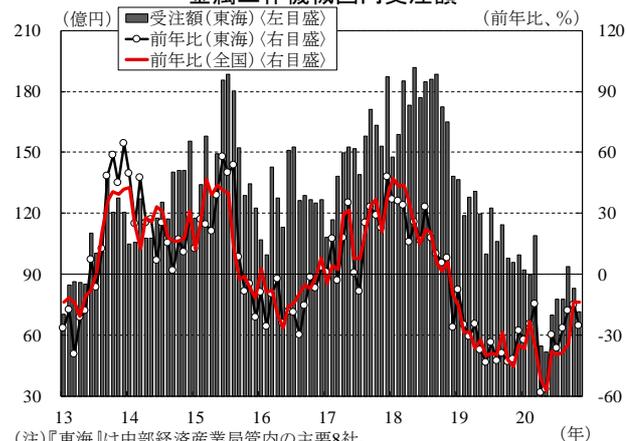


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
4.1社あたり投資額は設備投資額合計を回答法人数で除して算出
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

11月の金属工作機械の国内受注額は前年比▲25.5%のマイナス。自動車工業からの受注が減少。

金属工作機械国内受注額

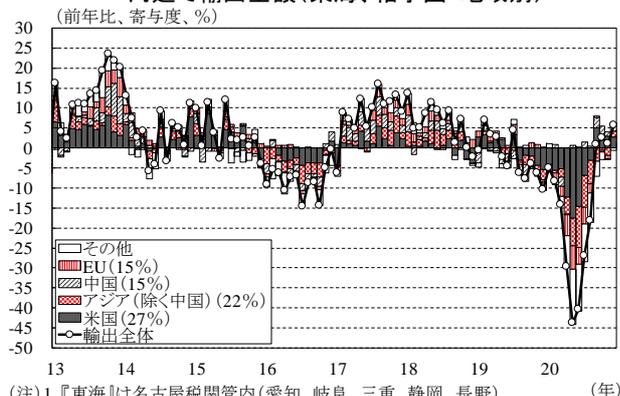


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

12月の輸出額(円ベース)は前年比+5.7%と4ヵ月連続で増加。米中向けに加えEU向けも増加。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)



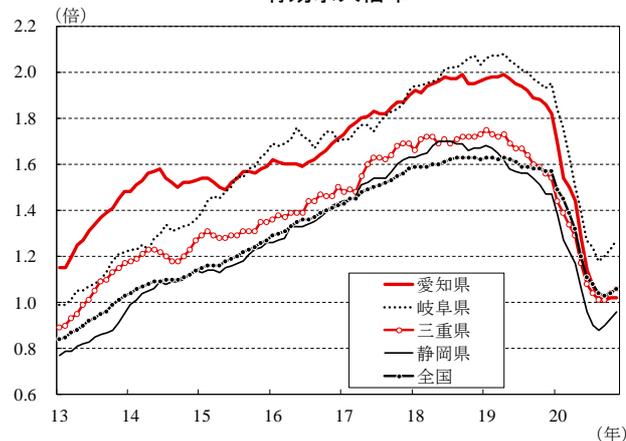
(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2019年輸出総額に占めるシェア。
3.EUの増減率は加盟国の増減を踏まえて算出。

(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

11月の有効求人倍率は、愛知県は1.02倍で前月と同水準の一方、その他3県は上昇を継続。

有効求人倍率



(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

11月の小売主要3業態の販売額は、百貨店が前年比▲12.8%、コンビニが同▲2.2%と減少。

小売主要3業態の販売動向(中部)

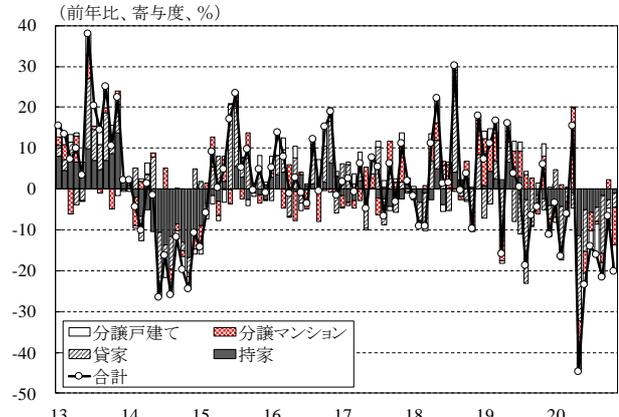


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

11月の住宅着工戸数は前年比▲20.2%と7ヵ月連続で前年割れ。

新設住宅着工戸数(東海)

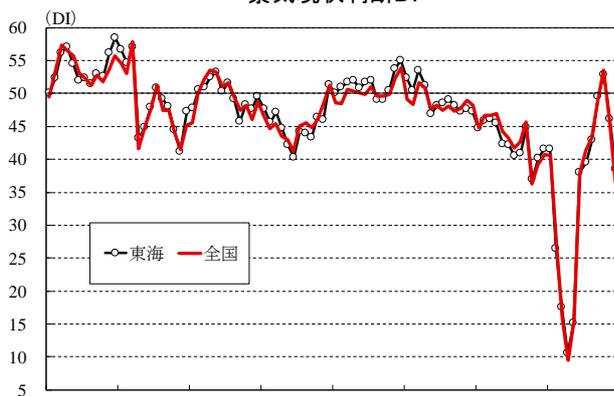


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

12月の現状判断DIは38.5(前月比▲7.6ポイント)と2ヵ月連続で悪化。

景気現状判断DI

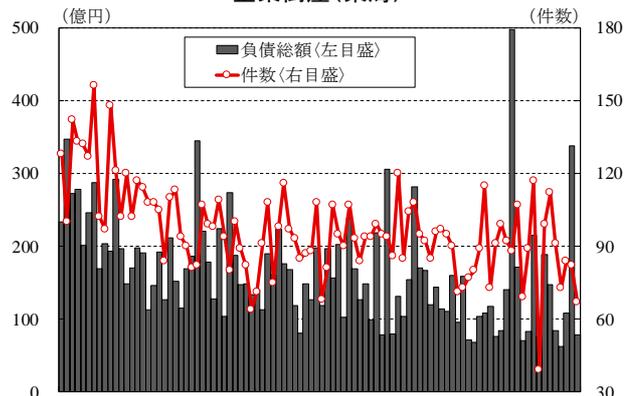


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

12月の企業倒産件数は67件(前年比▲23.9%)と減少、負債総額も78億円(同▲84.3%)と減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTIはサウジアラビアの自主的追加減産やバイデン政権の経済対策への期待から50ドル台に上昇。

原油価格

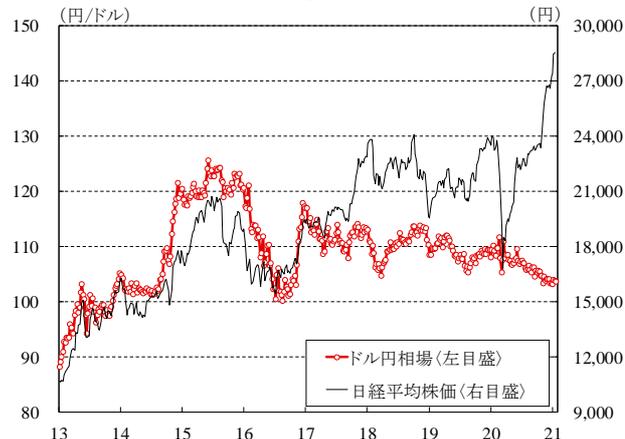


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

日経平均株価は内外経済の回復期待が続くなか2万8千円台に上昇。為替は1ドル103円前後で推移。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

福田 洋子 youko_2_fukuda@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。